



- <一般書 文学>
- 孤城春たり (澤田 瞳子)
 - その嘘を、なかったことには (水生 大海)
 - 死写会 (五十嵐 貴久)
 - 皇后は闘うことにした (林 真理子)
 - 人生の壁 (養老 孟司)
 - さよなら校長先生 (瀧羽 麻子)
 - 大人の流儀 12 (伊集院 静)
 - 暗号の子 (宮内 悠介)
 - 張良 (宮城谷 昌光)
 - サーペントの凱旋 (知念 実希人)
 - 冬と瓦礫 (砂原 浩太郎)
 - ゴルフ場には死体がいっぱい (江上 剛)
 - 台所で考えた (若竹 千佐子)

- <一般書・その他>
- もっと知りたい鳥屋重三郎 (田辺 昌子)
 - 60歳を過ぎたらやめるが勝ち (和田 秀樹)
 - アレの正しい使い方図鑑 (東京トリセツ研究会/編)
 - 近くも遠くもゆるり旅 (益田 ミリ)
 - 地方一揆 (岩崎 芳太郎)
 - 心を動かす美術の時間 (イトウ ハジメ)
 - 老い方がわからない (門賀 美央子)
 - 官僚生態図鑑 (森永 卓郎)

- <児童書>
- かいつゾロリいただき!! (原 ゆたか)
 - なぞのどデカダイヤモンド (赤松 利恵/監修)
 - ザ・給食 (安東 みさえ)
 - ワルイコいねが (小林 直弥)
 - 絵で見て楽しい! はじめての和のおどり (川端 誠)
 - 芝浜 上・下 (工藤 直子)
 - のはらうた絵本 (斎藤 洋)
 - ふゆのおばけずかん (長江 優子)
 - 朝読みのライスおばさん (横沢 彰)
 - どれだけご存知? 敬語

本の所在については、図書館にお問い合わせください。

問合せ 芦原図書館 ☎ 78-7246
金津図書館 ☎ 73-1011

金津図書館休館のお知らせ

蔵書点検のため、次の期間休館します。

とき 令和7年2月25日(火) ~ 28日(金)

※金津図書館以外の金津本陣IKOSSA内施設と芦原図書館は通常どおり利用できます。第4木曜日は休館日です。

問合せ 金津図書館 ☎ 73-1011

第17回中央公民館まつり ~ 出会い・ふれあい・みんなの広場 ~

ほのぼのの展

令和7年2月15日(土)・16日(日)開催

9時~15時

会場: 中央公民館

同時開催

あわらし生涯学習推進大会 (15日 開会式9時)

NHK エンタープライズ
エグゼクティブプロデューサー
げんだつ きょうこ
堅達 京子氏 記念講演 (10時~)

地球沸騰化を食い止めよう!
あわらを豊かにする脱炭素のまちづくり

お茶席 (16日 10時~15時)

茶券1枚 300円

皇風煎茶禮式「光風会」による
本格的な煎茶が体験できます。

展示の部 (15・16日 9時~15時)

公民館活動団体の作品展示

- 生花部門 生け花彩花会
- 書道部門 文化書道会、稲木書道教室、阪野書道教室、実用筆ペン教室
- 文芸部門 金津番傘川柳会、絵手紙教室
- 手話部門 湯の花手話サークル
- 絵画部門 デッサン教室



ステージ発表の部 (16日 10時~11時50分)

公民館活動団体などのステージ発表

- 白藤こども園・アマレーかなづ
- 朗読劇・妙安寺こども園

体験コーナー・ふれあい広場

子ども教室 (15日 13時~14時30分)

「ビーズで作るストラップ」
小学生対象。当日参加もOK!
材料費 1,000円が必要です。

スタンプラリー

景品が当たるよ! 公民館に遊びに来てね。

その他にもいろいろな体験ができるよ!

- ・福井県防衛省福井地方協力部隊
- ・健康づくりコーナー
- ・金津番傘川柳会「楽しい川柳」

e スポーツで多世代交流

~太鼓の達人 無料体験会~
(15日 13時~15時)



ドローンを使ったお菓子とり体験もあるよ!

キッチンカー

15日 ルぐま
15日・16日 高木商店

主催: ほのぼの展実行委員会
後援: あわらし文化協議会



郷土歴史資料館 だより



「三人の藤野先生」展 関連講演会

企画展「三人の藤野先生、その生涯と交流~升八郎と
洪庵・巖九郎と魯迅・恒三郎と遼太郎~」に関連して講
演会を開催しますので、ぜひご参加ください。

とき 2月22日(土) 10時30分~

ところ 金津本陣IKOSSA 3階 大ホール

テーマ①「適塾と緒方洪庵」

藤野巖九郎の父・升八郎の師である、緒方洪庵
の業績と適塾の内実について紹介します。

講師 松永 和浩氏 (大阪大学適塾記念センター准教授)

テーマ②「三人の藤野先生—その医業と教育—」

三人の藤野先生の事績を紹介し、彼らに共通する
生きざまや教育精神に迫ります。

講師 西川 哲矢氏 (大阪大学適塾記念センター特任助教)

入場料 無料 定員 80人

申込み 1月22日(水) 受付開始

郷土歴史資料館 ☎ 73-5158



藤野巖九郎記念館 ▶
(旧藤野家住宅主屋)

第2回ふるさと講座 越前奇談怪談集—あわらし市域を中心に—

越前地方には江戸時代以前からの奇妙な話や怪しい話
が数多く伝わっています。多くは語り継がれてきたもの
ですが、なかには文字で書かれて広まったものもあります。

今回のふるさと講座では、特にあわらし市域に関する「記
された奇談・怪談」を中心に取り上げ、イラストや図版
を交えながら読み解きます。

とき 2月16日(日) 13時30分~

ところ 金津本陣IKOSSA 3階 大ホール

講師 長野 栄俊氏 (福井県文書館主任)

入場料 無料 定員 30人

申込み 1月16日(木) 受付開始

郷土歴史資料館 ☎ 73-5158

よめおど
「嫁威し」の一場面 ▶
「二十四輩順拝図会」より
(江戸東京博物館蔵)



郷土歴史資料館 (金津本陣IKOSSA 2階)

休館日 月曜日・第4木曜日 (祝日の場合はその翌日)

開館時間 9時30分~18時 (最終入館17時30分)

問合せ ☎ 73-5158 FAX 73-1038 ✉ maibun@city.awara.lg.jp

栄養 ひとくちメモ

問合せ 学校給食センター ☎ 73-1400

全国学校給食週間



最初の給食

現在の給食

日本の学校給食の始まりは、明治22年までさかのぼります。貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために食事を提供したことをきっかけに、全国各地へ学校給食が広がっていきました。

太平洋戦争の影響で一時的に中断されていましたが、戦後、子どもたちの栄養状態を改善するために海外からの支援を受け、学校給食が再開されました。学校給食が再開されたことを記念し、昭和25年度から毎年1月24日~30日の1週間を「全国学校給食週間」とし、学校給食の意義や役割について理解と関心を深める期間としています。

ご飯を中心とした和食献立を基本に、郷土料理や行事食を提供しています。また、多様な食文化への理解を深めることを目的とし、さまざまな国や地域の料理を取り入れるなどの工夫もしています。食事の提供だけでなく、栄養バランスや食文化、食べ物や生産者への感謝の気持ちを学ぶなど「生きた教材」として、給食は食育の役割を担っています。

学校給食センターでは令和7年1月20日(月)~24日(金)に学校給食週間を実施します。お楽しみに!!

昨年度の学校給食週間献立 「薄味の工夫を知ろう」

昨年度は、「だしのうま味」や「酸味」、「スパイス」など薄味でもおいしく食べられるような工夫を紹介し、子どもたちに味わってもらいました。



明治22年 最初の給食

おにぎり
焼き鮭、漬物



出典: 独立行政法人日本スポーツ振興センター